

# 「主体的に学習に取り組む態度」 の評価の工夫

## 東京都中学校理科教育研究会

### 令和4年度 学習・評価委員会

豊島区立明豊中学校	松本 和記	大田区立大森東中学校	高崎 紀昭
中野区立南中野中学校	若木 洋	コタキナバル日本人学校	金子 竜治
練馬区立開進第三中学校	龍崎 宗子	東京都立小石川中等教育学校	小原 洋平
荒川区立第三中学校	小谷野 美智子	中野区立南中野中学校	齋藤 吉伸
府中市立府中第一中学校	永井 暁人	瑞穂町立瑞穂中学校	臼杵 英俊

# 【研究概要】

## ～研究主題と仮説～

### 研究主題

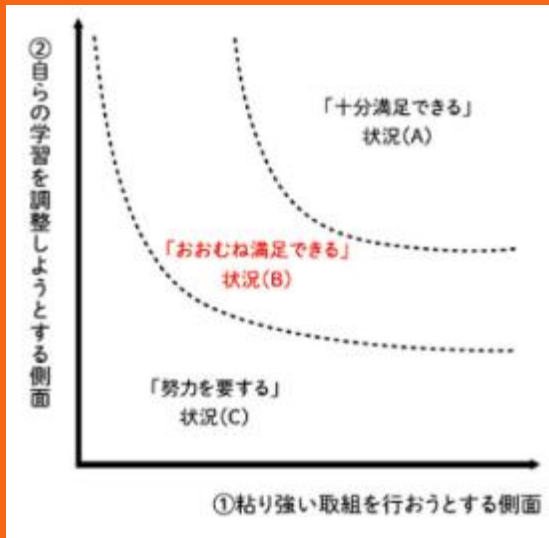
「主体的に学習に取り組む態度」  
の評価の工夫

今回の発表では

- ・ 更なる実践事例
- ・ 評価の妥当性・客観性の検証
- ・ 指導と評価の一体化の検証

# 【研究概要】

## 「主体的に取り組む態度」 二次元ループリック



② 自らの学習を調整しようとする側面

↑	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。 自らの学習を振り返っていない	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。 毎回の授業で、自らの学習を振り返っている。	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。 毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、内容を具体的に示すことができる。 <b>A</b>
	授業の内容を踏まえて、新たな疑問や課題を設定している。 自らの学習を振り返っていない	授業の内容を踏まえて、新たな疑問や課題を設定している。 毎回の授業で、自らの学習を振り返っている。 <b>B</b>	授業の内容を踏まえて、新たな疑問や課題を設定している。 毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、内容を具体的に示すことができる。
	新たな疑問や課題を設定していない。 自らの学習を振り返っていない <b>C</b>	新たな疑問や課題を設定していない。 毎回の授業で、自らの学習を振り返っている。	新たな疑問や課題を設定していない。 毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、内容を具体的に示すことができる。
	→		

① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面

「粘り強さ」と  
「学習の調整」を  
一体的に評価

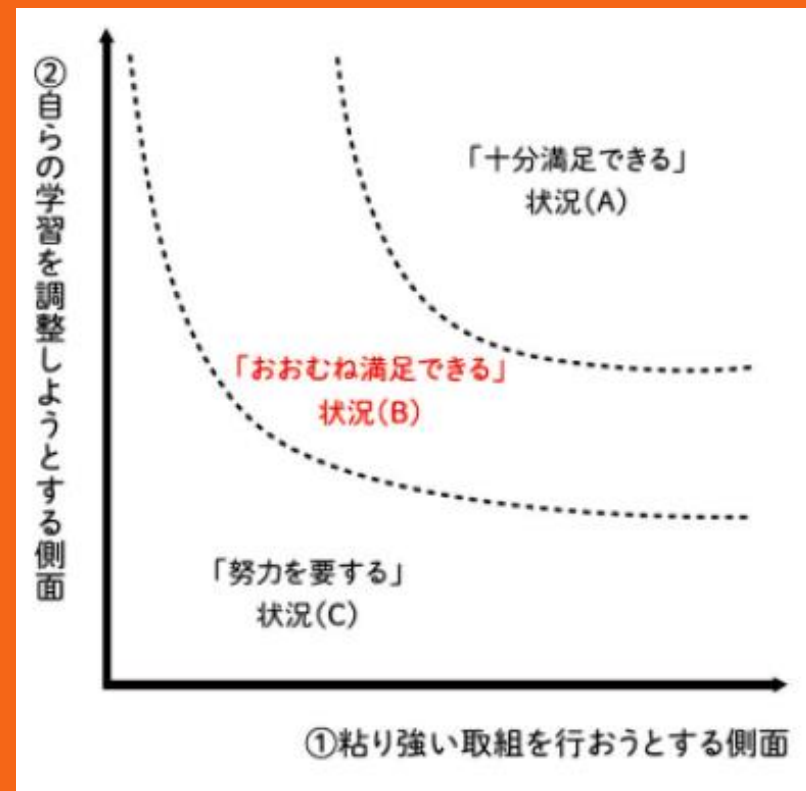
# 研究内容

# 【背景】

## ～「主体的に取り組む態度」の評価～

### 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より

- ① 知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面
- ② ①の粘り強い取組を行う中で，自らの学習を調整しようとする側面



# 【研究内容】

## 「主体的に取り組む態度」 ルーブリック評価

	①粘り強い取組を行おうとする側面
A	毎回の授業で自らの学習を振り返っていて、その内容を具体的に示すことができている。
B	毎回の授業で自らの学習を振り返っている。
C	自らの学習を振り返っていない。

	②自らの学習を調整しようとする側面
A	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。
B	授業の内容を踏まえて新たな疑問や課題を設定している。
C	新たな疑問や課題を設定していない。

# 【研究内容】

## 「主体的に取り組む態度」 二次元ループリック

② 自らの学習を調整しようとする側面

	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。  自らの学習を振り返っていない	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。  毎回の授業で、自らの学習を振り返っている。	授業の内容を踏まえて発展的な新たな疑問や課題を設定している。  毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、内容を具体的に示すことができる。
	授業の内容を踏まえて、新たな疑問や課題を設定している。  自らの学習を振り返っていない	授業の内容を踏まえて、新たな疑問や課題を設定している。  毎回の授業で、自らの学習を振り返っている。	授業の内容を踏まえて、新たな疑問や課題を設定している。  毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、内容を具体的に示すことができる。
	新たな疑問や課題を設定していない。  自らの学習を振り返っていない	新たな疑問や課題を設定していない。  毎回の授業で、自らの学習を振り返っている。	新たな疑問や課題を設定していない。  毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、内容を具体的に示すことができる。
			

① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面

# 【研究の概要】

## ～1枚ポートフォリオ～

平成27年度学習評価委員会

全中理大会報告

### UNIT 1 『光』

上段：授業タイトル  
下段：授業の一番大切なこと

『光』について知っていること  
・明るい ・まぶしい ・鏡が写る  
・反射する ・速いがある。

1 11/11  
光を走らせてみる実験  
光と水を使って、水を入れることにより、  
何が見えなくなる。この実験が、  
ある実験がなかった。水と水の関係が  
あるのか？

2 11/12  
ものが見えるまでの光の経路  
Word- 物を見るには光源が必要  
の光線。光源が赤いにはね  
返って物が見える。空中では  
光の速い  
光の速い？ 光の速い？

3 11/14  
光の反射の説明  
Word- ①反射は、入射光・反射光  
の反射  
②入射角・反射角  
③入射角・反射角は、  
入射光・反射光、  
入射角・反射角  
④入射角・反射角は、  
入射光・反射光、  
入射角・反射角

4 11/25  
光にも法則がある！  
Word- ①反射の法則は、入射角・反射角  
の反射の法則  
②入射角・反射角は、  
入射光・反射光、  
入射角・反射角  
③入射角・反射角は、  
入射光・反射光、  
入射角・反射角

5 11/23  
光と鏡の関係  
Word- 光はガラスを通るとは限り、  
屈折  
①まぶしい光はガラスの屈折  
②屈折角  
③屈折角  
④屈折角  
⑤屈折角  
⑥屈折角

6 11/26  
屈折の説明  
Word- ①空気→ガラスに光が通ると、  
入射角・屈折角  
②ガラス→空気  
③入射角・屈折角  
④入射角・屈折角  
⑤入射角・屈折角  
⑥入射角・屈折角

7 11/27  
全反射の説明  
Word- ①入射角を大きくすると、  
屈折角も大きくなる。→  
屈折角が90度  
②水→空気  
③入射角と屈折角  
④入射角と屈折角

8 12/1  
凸レンズのはたらき  
Word- ①光は凸レンズを通ると、  
屈折し、集まる。  
②凸レンズの焦点  
③焦点距離  
④焦点距離

『光』について知っていること

### ●授業の振り返り

→生徒が学習の振り返りをする  
ことができ、次の学習につなげること  
ができる。教員は、授業展開と  
生徒の理解度を見ること  
ができる。

### ●単元を貫く問い

→生徒の変容を生徒自身が把握し  
たり、教員が評価することが  
できる。



# 【研究内容】

## ～1枚ポートフォリオの工夫～

日付	分かったことや学んだこと	もっと知りたいことや疑問点、課題点など
7/4 (木)	イオカナリその光の当てた葉と光の当てなかった葉のそれぞれにヨウ素液を垂すと光を当てた方の葉の細胞の中の葉緑体にデンプン反応が見られ、光合成が葉緑体で行われていることがわかった。また、エタールで脱色することで透明な葉の色を確かめやすく、葉緑体を確認することができた。	今回、葉緑体がないと光合成をしないということがわかった。また、デンプン反応は葉緑体で行われることにより、光合成を顕微鏡
7/7 (水)	実験で葉に光を当てた試験管が白くにごり、白かったことから光合成をする時にCO <sub>2</sub> を減らすことがわかった。根から得た水と空気中のCO <sub>2</sub> で糖分と酸素が作られていることを光合成というのと改めて理解を深めることができた。	光合成は、根から得た水と空気中のCO <sub>2</sub> で糖分と酸素が作られていることと、植物は光合成で出
7/9 (金)	蒸散とは植物が表面から水蒸気を出す作用のことということがわかった。また、吸水することで養分を得て、不要物を蒸散することで植物の体外に出していることがわかった。また、蒸散は裏表5、葉1枚ごとの割合で行われていることがわかった。また、はまやつばきのように例外もある。	今回の実験で、正しい結果になるように条件をそろえて実験することも意識した。

①授業を通して分かったこと

- ・ 枠をフリーに

→自由に調整できる

「粘り強い取組を行おう  
としている側面」を評価

# 【研究内容】

## ～1枚ポートフォリオの工夫～

②授業で疑問に思ったこと、  
もっと知りたいこと

- ・新たに加える。

→疑問点、課題点を  
発見する

「自らの学習を調整しよ  
うとする側面」を評価

日付	分かったことや学んだこと	もっと知りたいことや疑問点 課題点など
	水の当てなから 照らすと光を当て て蒸騰反応が わかれているとわか ると透明な青 認めることができ	今回、葉緑体がないと光合成をしないということが 分かったが、葉緑体の濃さによる光合成のしやす さとは関係あるのだろうか。それとも日光に強さ によってしか変わらぬのだろうか。また、葉緑体が 光合成をする時に二酸化炭素を吸収するのだろうか。 顕微鏡については40倍でピントを合わせらるようにはい
	気管が白くこ ろにCO <sub>2</sub> を解 空気中のCO <sub>2</sub> で とを光合成とい こことい	光合成をする際に二酸化炭素や酸素が出入りし ていることがわかったが、その部分の名前はあった か、また、詳しいつりについても知りた。他にも植 物は光合成以外に呼吸をしているということだから 呼吸で出すCO <sub>2</sub> と光合成で使うCO <sub>2</sub> の量の差はどのくらいあるた
	水蒸気を出す作 吸収すること ことで植物の また、蒸散は裏	今回の実験では表だけにしたものか。17mm 裏 だけか12mm たったのに対して何もなかったか15mm になつてしまった。詳しい原因は分からないが 空気が入っていたり、ほかの周りにほかのたかも しれない。正しい結果になるように条件をそろえて 実験することを意識したい。
	た、蒸しこき かた。また、はまやつけきのよう	

# 【研究内容】

## ～一枚ポートフォリオの工夫～

スプレッドシートに入力させる方法

PCやタブレットがあればいつでも書ける。

1年組 番号 名前		
単元2	身のまわりの物質	
第3章	水溶液の性質	
章を学習する前の考え 問 ビーカー中のミョウバンが溶けずに大きくなったのはなぜだろうか。 自分の考えに溶けた気体を吸収した		
日付	①授業を通して「わかったこと」「わからなかったこと」	②授業を通して「疑問に思ったこと」「もっと知りたいこと」
9/9 (1回目)	水⇒71.7g...コーヒースュガー水⇒73.5g 水⇒72.9g...デンプン水⇒73.2g 2つをろ過すると、コーヒースュガー水はそのままだったが、デンプン水は透明になった。 ☐ デンプンはほとんど溶けていないと言える	水に溶けにくい物質と溶けやすい物質には、どんな違いがあるのか。
9/9 (2回目)	★物質が水に溶けるとは ①液が透明になる ②液の濃さはどの部分も同じになる ③時間がたっても液の濃さはどこも変わらない。 溶質...溶けている物質 溶媒...溶かしている物質 溶液...溶媒に溶質を溶かしたもの 水溶液...溶媒が水の場合	溶媒は、水以外にどのようなものがあるのか。
9/14	純物質...1種類の物質でできているもの 混合物...2種類以上の物質が混ざりあったもの 質量パーセント濃度...水溶液の濃さを表す値 ★重要公式 質量パーセント濃度 = $\frac{\text{溶質}}{\text{溶液}} \times 100$	地球上に純物質はどのくらいあるのか。また、どのようなものがあるのか。
9/29	金属+塩酸=水素	特にない
9/30	結晶...規則正しい形をしたもの 飽和水溶液...物質がそれ以上溶けることのない状態の水溶液 溶解度...100gの水に溶ける物質の量 溶解度曲線...溶解度をグラフにしたもの 再結晶...物質を一旦水に溶かし、溶解度の差を利用して再結晶として取り出すこと 水に溶けた物質を取り出すためには、再結晶、水を蒸発させるなどの方法がある	溶液になった物質を取り出す方法は他に何があるのか
章を学習した後の考え 問 ビーカー中のミョウバンが溶けずに大きくなったのはなぜだろうか。 自分の考えに溶けていたミョウバンが再結晶して大きくなったから		

# 實踐報告

# 【実践報告 2年生 生物】

## ～単元指導計画～

### 第2学年第二分野（3）「生物のからだのつくりと働き」 （イ）植物のからだのつくり

時間	主な学習活動	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「章を貫く問い」について考える。</li> <li>・既習事項の確認、動機づけをする。</li> </ul>	主体的に学習に取り組む態度
2～3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光合成がどこで行われているか調べる。</li> </ul>	知 思
4～6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光合成に必要な条件を調べる。実験計画の作成、実験、まとめをする。</li> </ul>	知 思
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸について学習する。</li> </ul>	知 思
8～9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸散と吸水の実験を行い、葉のどこで蒸散が盛んにおこなわれているかを調べる。</li> </ul>	知 思
10～11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉と気孔の観察とそのまとめをする。</li> </ul>	知 思
12～13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茎と根のはたらきと維管束について学習する。</li> </ul>	知 思

指導に活かす評価

記録に残す評価



# 【実践報告 2年生 生物】 ～生徒記述例①～

【ルーブリック】

A/B

## 生徒①

日付	分かったことや学んだこと	もっと知りたいことや疑問点、課題点など
7/12	植物のからだの作りを理解するための気根の働きがわかった。	気根の働きを学んだだけなのに、
7/14	植物は葉緑体からこの光を作っており、光を当てるとこの光が葉緑体に吸収された。	なぜ太陽の光は葉緑体に吸収されるのか。太陽の光には何があるのか。葉緑体は光を吸収するのだから。
9/17	光合成の仕組みと光合成によって生じた酸素の働きを理解することができた。	なぜ太陽の光は葉緑体に吸収されるのか。水はどのようにして葉緑体に吸収されるのか。光はどのようにして葉緑体に吸収されるのか。
9/19	水の散りを観察し、水の蒸発をよりよく理解し、覚えやすくなった。	水の散りを観察する時、なぜ水は蒸発するのか。
11/11	植物の根茎葉の働きを学ぶことができた。	植物の根茎葉の働きを学ぶことができた。

【粘り強い取り組みを行おうとする側面】  
毎回の授業で自らの学習を振り返っている。

【学習を調整しようとする側面】  
新たな疑問や課題に対して自分なりに調べ解決している。

# 【実践報告 2年生 生物】

## ～生徒記述例②～

【ルーブリック】

		A/B

### 生徒②

日付	分かったことや学んだこと	もっと知りたいことや疑問点、課題点など
7/12	葉緑体に光が入るとアミノ酸が 作られた。このことから、光合成は 葉緑体で行われていることがわ かった。	葉脈体以外に光合成がどこ で行われているのか気になった。
7/14	葉に光が入ると水の分解が 起こるとわかった。光合成では CO <sub>2</sub> を取り込んで、このCO <sub>2</sub> が 使われて、光合成はCO <sub>2</sub> を取り 入れて、O <sub>2</sub> を出している。	葉に光が入ると光合成が 起こるとわかった。水の分解 がどのように起こっているのか 気になった。
7/16	植物は葉の裏側に水を蒸らす 作用がある。この作用が 蒸散作用であることがわ かった。	蒸散作用はどのくらい の水蒸気を出しているのか 気になった。

【粘り強い取り組みを行おうとする側面】  
毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、  
内容を具体的に示すことができている。

【学習を調整しようとする側面】  
新たな疑問や課題を設定している。

# 【実践報告 2年生 生物】

## ～生徒記述例③～

生徒③

【ルーブリック】

		B/C

日付	分かったことや学んだこと	もっと知りたいことや疑問点、課題点など
7/13	実験をした(光合成) 光をあてた方はたんぱく質がつかったから ヨウ素液をつけたら青むらさきになり 光をあてなかった方はたんぱく質がつか なかったから、ヨウ素液をつけたら何 もなかった	
7/14	ヨウ素液をつけたら青むらさきになった 方を1人だけ見ると黒い→おか しいからこのことから光合成は葉緑体で 行われると分かった	

【粘り強い取り組みを行おうとする側面】  
毎回の授業で、自らの学習を振り返っていて、  
内容を具体的に示すことができている。

【学習を調整しようとする側面】  
書くことができなかった。



# 【授業実践報告】

## ～ルーズブリックを使った評価～

日付	分かったことや学んだこと	もっと知りたいことや疑問点、課題点など
7/4 (木)	オオカサナシの光の当てた葉と光の当てなかった葉のそれぞれにヨウ素液を垂すと光を当てた方の葉の細胞の中の葉緑体にデンプン反応が認められ、光合成が葉緑体で行われていることが分かった。また、エタノールで脱色することで透明な葉脈が確認できやすく、葉緑体を確認することができた。	① 葉緑体がないと光合成をしないということから、葉緑体の濃さによる光合成のしやすさには関係があるのだろうか。また、葉緑体の濃さは変化するのだろうか。また、葉緑体は光合成をする時に二酸化炭素を吸収するのだろうか。顕微鏡に付いては4倍でポイントを合わせると、葉緑体を見る際、二酸化炭素と酸素が取り出されることか分かったが、その部分の名称はあるのだろうか。また、詳しい原理について知りたい。根にも根毛は光合成以外に呼吸をしているということか。根毛で取り出したCO <sub>2</sub> と光合成で作り出したCO <sub>2</sub> の量はどのくらいか。
7/7 (水)	実験で葉に光を当てた試験管が白くにごったことから光合成をする時にCO <sub>2</sub> を吸収することが分かった。根から得た水と空気中のCO <sub>2</sub> でデンプンと酸素が作られていることを光合成ということと改めて理解を深めることができた。	② 根毛の長さについて、17mmの葉が12mmの葉に対して何もしないが15mmの葉が入っていたり、はかり間違いかおたあかたおた。正しい結果になるように条件をそろえて実験することも意識したい。
7/9 (金)	蒸散とは植物が表面から水蒸気を出す作用のことか分かった。また、吸水することで養分を得て、不要物を蒸散することで植物の体外に出していることが分かった。また、蒸散は葉の表面、茎の節の割合で行われていることが分かった。また、はよやっけきのように例外もある。	

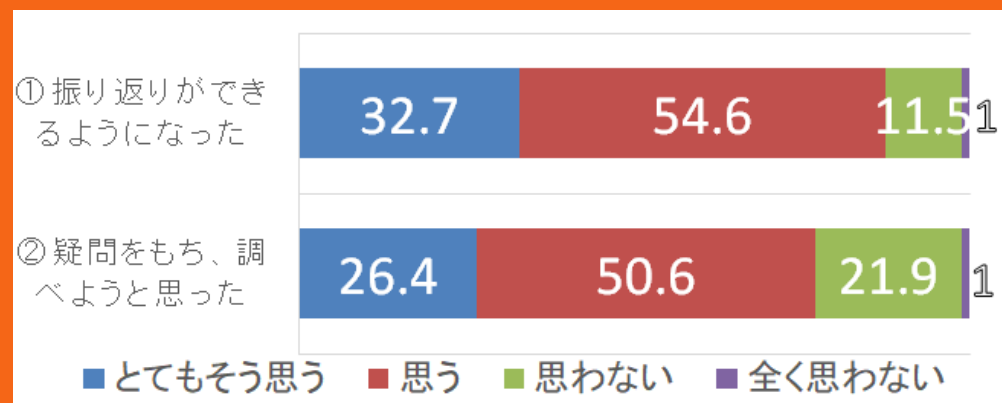
- ① 授業を通して分かったこと
- ② 授業で疑問に思ったこと、もっと知りたいこと

単元を通して総合的に評価

# 成果と課題

# 【成果と課題】

## ～これまでの成果～



振り返りができるようになった

87.3%

疑問をもち、調べようと思った

77.0%



自分と先生の評価は一致していた

76.8%

# 【成果と課題】

## ～これまでの成果～

第二学年 5月

### 同一生徒の変容

生徒④

第一学年 9月

<p>1. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>	<p>1. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>
<p>2. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>	<p>2. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>
<p>3. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>	<p>3. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>
<p>4. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>	<p>4. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>
<p>5. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>	<p>5. 化学の授業で、先生が実験をしながら説明しているのを見て、自分も実験してみたいと思った。</p>

4月11日	<p>2年生になって初めての理科の授業だった。炭酸水素ナトリウムを熱して変化を調べた。集めた気体は石灰水を加えると、白く濁った(二酸化炭素だとわかる)</p> <p>熱することにより、<b>二酸化炭素に変化する</b></p>	<p>元々は、炭酸水素ナトリウム→<math>\text{CO}_2</math>ではない</p> <p>熱すると...</p> <p>熱したあとの気体に<b>線香を入れたと消えた</b>→<b>酸素ではない</b></p> <p>石灰水を入れたと白く濁った→<math>\text{CO}_2</math></p>
4月12日	カラーテストをやった。一年生の復習で、覚えていないところもあった。	熱することで、性質が変わった。他の気体も熱し、変化を調べてみたい!!
4月13日	カラーテストを行った。前日と同じく一年生の復習だった。また今回も家で勉強したことで満点が取れた!!	家で一回でも解くことで、点数が大きく変わるの。これからは家での予習や勉強に力を入れ更に知識が増えるように頑張りたい!!
4月18日	<実験から学んだことをまとめた> 炭酸水素ナトリウムを熱すると気体と液体が発生する。気体を石灰水に通すと白く濁る(二酸化炭素だとわかる)	家で勉強することで、前日も今回も満点を取ることができたので良かった。これからも家庭学習を続けていきたい
4月20日	水に電流を流して変化を調べた。(実験中) <用語> 陰極 - (マイナス) 陽極 + (プラス)	実験でやったことを生かしてまとめを行った。ホットケーキを作る場合はベーキングパウダー(炭酸水素ナトリウム)を入れないと生地が膨らまないことがわかった。
4月21日	(答え合わせ) 実験の結果から得たことをまとめ、そのまとめの答え合わせをした。	電気分解で水素と酸素に分けた。発生した気体は陰極側のほうが多かった。発生した気体に火を近づけるとボンッとなった(水素だとわかる)
4月23日	$2+2=4$ だと思っていたが、この実験で理科の場合は <b>法則が成り立たない</b> ことがわかった。液体の原子の粒が小さいと瞬間に入り込むことがわかった	電気分解 電流を流して物質を分解すること 水(電流) 水素+酸素 Q1. 酸素や水素も電気分解ができるのかが気になった。 Q2. 矢印の意味が気になった
4月25日	化学式を覚えた <重要な化学式> 水素 $\text{H}_2$ 二酸化炭素 $\text{CO}_2$ 炭素 $\text{C}$ 銅 $\text{Cu}$ 酸素 $\text{O}_2$ 水 $\text{H}_2\text{O}$	実験こみてみたいと思った。他の物質同士を組み合わせてもこの法則が成り立つのが気になった
4月27日	<ワークが配布された> ワークの中で一年生の復習のページを20分で復習しテストを行った。また、満点を取ることができた	語呂合わせなどを活用して、すべての化学式を覚えたい。また、化学式のアルファベットの由来が気になった。((予想)それぞれの物質を英語で表したときの頭文字? また金額は初めの文字が大文字なので小文字にしないように注意したい。例) Fe, Mg, ... など
5月2日	<単語を覚えた> 単体と化合物 単体 1種類の元素からできている物質 化合物 2種類以上の元素からできている物質 物質の分類 純物質 1種類の物質からできている物質 混合物 2種類以上の物質が混ざり合っている物質	テスト前まいつもマイペースに時間をかけてゆっくりと勉強しているが、今回は時間内に決められた範囲を勉強し終わったので、いつもとは違っていたが、 <b>短時間で集中して勉強に取り組む方が、効率的だ</b> ということがわかった。また、自分は部活に所属しているの、なるべく運動にも時間を割きたいので <b>90分間で勉強</b> は <b>とても良い</b> と思った。
		「純物質(純粋な物質)」と「混合物」は一年生の復習だったが、純物質は更に分類すると「単体」と「化合物」に分類されることがわかった。化合物にも化学式(元素記号)?があるのかが気になった。

- 短時間で集中して勉強に取り組む方が、**効率的**だということがわかった。
- 家庭学習で**復習**を**続けて**いきたい。

# 【成果と課題】

## ～追加のアンケート 質問項目～

### 【質問項目】

(振り返りシートを行って)

- ①身のまわりのものや現象に興味をもつようになりましたか。
- ②自分の疑問や興味をもったことをさらに調べたり、確かめてみようと思いましたか。
- ③今、学習している学習内容について興味をもつようになりましたか。
- ④今、学習している学習内容が理解できましたか。
- ⑤振り返りシート（OPP）を書く時の自分の様子  
(毎回スムーズに書ける ・ とりあえず毎回かける  
少ししか書けない ・ 毎回何を書いていいかわからない)

# 【成果と課題】

## ～追加のアンケート結果①～

### 二次元ループブリックとアンケート結果の関係

質問①：

身のまわりのものや現象に興味をもつようになりましたか。

● 肯定的回答

● 否定的回答

質問②・③に対しても同様の結果

A	0.8%	2.4%	16.6%
	0.8%	1.7%	6.4%
自己調整	2.4%	13.7%	14.9%
	0.4%	4.0%	3.2%
C	6.8%	15.3%	7.8%
	0.8%	1.2%	0.8%
	C	粘り強さ	A

# 【成果と課題】

## ～追加のアンケート結果②～

### 二次元ループリックとアンケート結果の関係

質問⑤：  
振り返しシート  
(OPP) を書く時  
の自分の様子  
● 肯定的回答  
● 否定的回答

A	0.0%	1.5%	14.5%
	1.6%	2.6%	8.5%
自己調整	1.2%	11.6%	13.0%
	1.6%	6.1%	5.0%
C	3.6%	12.4%	5.2%
	4.0%	4.1%	3.4%
	C	粘り強さ	A

# 【成果と課題】

## ～研究成果のまとめ～

### 評価の妥当性・客観性の検証

- 生徒アンケートから、教員からの評価と生徒の自己評価はおおむね一致した。
- 評価基準を生徒にも明確にしたことで、客観性が高まった。

### 指導と評価の一体化

- 学習の改善につながっている様子が見られた。
- 評価基準を示しているので、生徒もそれを目指すようになっていた。
- 指導と評価を繰り返すことで、生徒の主体性を向上させている。



# 【成果と課題】

## ～今後の課題～

### 今後の研究内容

- 指導と評価の一体化  
生徒が二次元ルーブリックによる評価を受けて、学習の改善ができるかを検証する。
- 二次元ルーブリックの汎用性の検証  
3学年全単元における二次元ルーブリックによる評価実践を行い、検証する。

# 【成果と課題】

## ～今後の課題～

学年	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
1年	○	○	実践済	○
2年	実践済	○	実践済	実践済
3年	実践済	○	○	○

評価事例を随時作成し、評価の参考になるようにしていきます。

# 「主体的に学習に取り組む態度」 の評価の工夫

ご清聴ありがとうございました

参考文献

児童生徒の学習評価の在り方について

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料